

目標の柱	1	恵まれた自然環境と調和した生活空間の創造
基本目標(政策)	1-2	居住環境の整備・充実を図ります
基本計画(施策)	1-2-3	・水道施設の計画的な整備と安全安心な水資源の確保

	課	
主管課・係	環境水道課	水道係
関係課・係	各総合支所振興課	環境水道係

**【施策の目的と取組・現状分析】**

<p>1 施策の目的(対象・意図)は何ですか？ ※対象(誰が、何が、意図(どのようになることを目指すのか)を対象ごとに記載してください。</p>	<p>①需要者に対し、安全で低廉な価格の水道水を安定的に供給する。 ②中長期的な視点を基に、効率的な施設運用を行う。</p>																																																												
<p>2 「目指すべき状態」になるための成果目標は何ですか？</p>	<p>▼「目指すべき状態」を実現するために目標とする成果は何ですか？箇条書きで記載してください。</p> <p>①中長期的な視点に立ち、効率的な施設維持管理と計画的な施設設備の更新を行う。 ②限られたリソースを有効活用し、健全な水循環、脱炭素化社会に対応した施設運用を図る。</p>																																																												
<p>3 成果指標の状況(☆は追加した指標、※は変更した指標)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">単位</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th colspan="2">令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> <tr> <th>実績値</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A 水道有収率</td> <td>%</td> <td>76.6</td> <td>71.0</td> <td>77.0</td> <td>71.1</td> <td>80.0</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>C</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>D</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度	実績値	実績値	目標値	実績値	目標値	A 水道有収率	%	76.6	71.0	77.0	71.1	80.0	B							C							D							<p>4 成果指標の実績値は目標値に対してどうでしたか？</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>▼その理由として考えられること</th> <th>見込み</th> <th>▼その根拠と目標値設定(変更)の考え方</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A ④ 下回った</td> <td>地下漏水があると同時に、水道管内に水道水が滞留するのを防ぐために余剰分を放流しているため。</td> <td>④ 達成は困難</td> <td>地下漏水の積極的に発見・修繕していくが、水道管内に水道水が滞留するのを防ぐために余剰分を放流する必要があるため。</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>C</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>D</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>5 令和4年度の目標値達成の見込みと方向付け</p>	評価	▼その理由として考えられること	見込み	▼その根拠と目標値設定(変更)の考え方	A ④ 下回った	地下漏水があると同時に、水道管内に水道水が滞留するのを防ぐために余剰分を放流しているため。	④ 達成は困難	地下漏水の積極的に発見・修繕していくが、水道管内に水道水が滞留するのを防ぐために余剰分を放流する必要があるため。	B				C				D			
			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度																																																					
	実績値	実績値		目標値	実績値	目標値																																																							
A 水道有収率	%	76.6	71.0	77.0	71.1	80.0																																																							
B																																																													
C																																																													
D																																																													
評価	▼その理由として考えられること	見込み	▼その根拠と目標値設定(変更)の考え方																																																										
A ④ 下回った	地下漏水があると同時に、水道管内に水道水が滞留するのを防ぐために余剰分を放流しているため。	④ 達成は困難	地下漏水の積極的に発見・修繕していくが、水道管内に水道水が滞留するのを防ぐために余剰分を放流する必要があるため。																																																										
B																																																													
C																																																													
D																																																													
<p>6 施策の目的に対して、今まで実施してきたことはありますか？</p>	<p>・漏水調査による地下漏水の発見、早期の修繕工事実施による対症療法的対策の積極的実施を行った。 ・漏水多発管路網への管更新工事、高圧地域への減圧弁設置など、予防的対策を実施した。 ・施設更新におけるポンプ規格等を見直し、人口減少や給水量減少等の将来を見据えダウンサイジングを行い効率的な施設運用につなげた。</p>																																																												
<p>7 町民等の外部意見を聴取する仕組みと反映状況を記載してください。</p>	<p style="text-align: center;"><input checked="" type="checkbox"/> 有    <input type="checkbox"/> 無</p> <p>上下水道事業審議会において公営企業の経営状況を報告し意見聴取している。</p>																																																												

**【施策の振り返り】**

<p>8 「2 成果目標」に対する有効性(成果が上がった点・問題点)</p>	<p>《成果》</p> <p>全体の無収水量を減らし、安定供給(安全の観点)、災害時リスクの減少(強靱の観点)、ポンプ等機器の延命(持続の観点)を向上させた。また、中長期的な観点から、施設運用の評価を行う将来の適正な水需要を予測につなげた。</p> <p>《課題》</p> <p>施設利用率が低く非効率な施設に対しては、中長期的な視点で機器更新計画を策定し、ポンプ故障時等の緊急対応でも着実なダウンサイジングの実行が求められている。</p>
<p>9 本施策の類似性</p>	<p style="text-align: center;"><input type="checkbox"/> 有    <input checked="" type="checkbox"/> 無</p>
<p>10 本施策の効率性</p>	<p>ICT活用による全施設の「見える化」が図られ一元管理が可能となった。施設利用率の数値化や漏水と非効率なポンプ稼働率の上昇等の早期発見は「モノ」の効率化に繋がっている。この効率化をいかに、「ヒト」の観点における職員の再配置を検討する必要がある。</p>

**【結論として・・・(施策の振り返りも踏まえて)】**

<p>11 自己評価や外部意見を踏まえた施策全体の今後の方向性</p>	<p>現状維持を目的とせず、他水道事業者の先進事例や新たな手法を積極的に取入れ改善が図られていることが評価できる。今後も現状に満足するのではなく、水道水の供給において安全・強靱・持続に必要な手法を取入れていくことが肝要である。</p>
-------------------------------------	---

12 施策を構成する事務事業

番号	事務事業名 (令和4年度新規事業に★)	所管課 担当係	事業の目的、概要、成果、問題、問題に対する対策を簡潔に記載してください。(2行以内)				
			事業費(千円)				
			令和元年度決算額	令和2年度決算額	令和3年度決算額	令和4年度予算額	
01	南郷地区水道整備事業	環境水道課	目的	老朽管の更新を図り、水道水の安定供給と有収率の向上に努めるため。			
			概要	当該地区の管路施設を中心に更新工事を行った。			
			成果	漏水多発管路に対して更新工事を実施した。			
		水道係	問題	当該地区水道の主たる水源である地蔵沢配水系に断続的な漏水が生じている。			
			対策	①継続 国庫交付金を活用し、継続し実施していきたい。			
			事業費	71,200	28,960	12,551	4,800
			02	中部地区水道整備事業	環境水道課	目的	老朽管の更新を図り、水道水の安定供給と有収率の向上に努めるため。
概要	当該地区の管路施設を中心に更新工事を行った。						
成果	当該地区水道の中で、石綿セメント管が埋設されている県道の更新を行い、緊急漏水リスクの軽減を図った。						
水道係	問題	県道に埋設されている石綿セメント管の漏水リスクが高い。					
	対策	①継続 国庫交付金を活用し、継続し実施していきたい。					
	事業費	48,800			59,694	34,852	20,000
	03	水道高料金対策事業			環境水道課	目的	水道事業の経営の安定と水道料金抑制を図る。
概要			総務省が定める地方公営企業繰出基準により、水道事業の高料金対策に要する経費として一般会計による支援を講じた。				
成果			水道料金の上昇を抑制することができた。				
水道係 (業務係)			問題	建設改良費の増大により資本費が著しく高額となることから、引き続き資金不足に対応するための高料金対策事業の実施が必要である。			
			対策	①継続 安定的な水道水の供給を行うため、水道事業経営戦略を見直し、施設・設備の更新等の課題を認識した投資計画と収支ギャップ解消に向けた財政計画を基に取組んでいく。			
			事業費	7,100	7,100	3,850	22,460
			04	水道配水設備拡張事業	環境水道課	目的	老朽管の更新を図り、水道水の安定供給と有収率の向上に努める。また、配水管未整備区域の解消を図る。
概要	老朽化した田島第1水源地の施設更新、区画整理区域内の配水管布設を行った。						
成果	田島第1地区水源更新工事の完了を進歩させた。区画整理工事と同時進行で配水管を経済に布設できた。						
水道係	問題	田島第1地区水道の給水区域に、断続的に20m <sup>3</sup> /hの漏水が生じている。					
	対策	①継続 対症療法的対策を講じて、効果的な予防的対策につなげたい。					
	事業費	55,200			53,856	91,160	50,040
	05	静川地区水道整備事業			環境水道課	目的	老朽化した取水、配水施設を更新せずに、隣接する針生地区と連絡管を整備し維持管理の効率化を図る。
概要			相互連絡管を新設布設した。(総延長L=2,700m)				
成果			連絡管L=456mを布設することができた。				
水道係			問題	静川地区水道浄水施設の老朽化が著しく、早期に完了しなければならない。			
			対策	①継続 国庫交付金を活用し、継続し実施していきたい。			
			事業費	0	37,220	42,940	50,000
			06	荒海地区水道施設再構築事業	環境水道課	目的	効率的な施設配置を再構築し、施設の統廃合と維持管理費を含めたライフサイクルコストの削減を図る。
概要	配水池の移設、水源池取水ポンプのダウンサイジング、施設の統廃合に取組んだ。						
成果	新設配水池(滅菌室含)の工事が完了した。						
水道係	問題	財政支出が大きい事業である。					
	対策	①継続 中長期的な視点をもって、国庫交付金を要望し財政支出の軽減を図る。					
	事業費	0			44,844	38,830	82,100
	07					目的	
概要							
成果							
			問題				
			対策				
			事業費				
			08			目的	
概要							
成果							
	問題						
	対策						
	事業費						
	事業費の合計(千円)				182,300	231,674	224,183